

## 明法中学・高等学校

MEIHO Global Endeavors

### 動き始めた GE

「明法GE通信」は魅力あるGEの具体的な教育内容をお知らせするために毎月20日に発行いたします。  
また、明法GEのホームページでもご覧になれます。



## 明法GEより

GE がスタートして1ヶ月が経ちました。生徒たちはすっかり学校に慣れて、安定した学校生活を送っています。

彼らにとって一週間の中で特に楽しみなのが水曜日。（1限）橋本先生の古典、（2限）駒野先生の数学、（3限～6限）GE 講座です。体力的にはやや大変ですが、週の真ん中、充実した1日のようです。GE 講座はCEDの北原先生、CED 特別補佐の柴藤先生、CED 助手の岩井先生の3名で受け持っていますが、今学期のディベート、2学期のペットボトルロケット、3学期の落語は特別講師をお招きしますので、4名体制になります。毎時間、担任をはじめ、他教科の多くの先生が見学されており、授業は常に開放的な雰囲気で行われています。

全3回（12時間）の西部先生のディベート講座では、今年度の全国ディベート甲子園への出場を目指しています。夏の大会に登録出来るのは6名のみですので、まず、クラス選考があり、クラス全員がライバルになります。夏の大会の命題は「日本は捕鯨を禁止すべき 是か非か」です。すでにネットで調べたものをファイルにまとめている生徒もあり、意気込みも充分です。今回はこれまで行われたGE 講座の内容についてお知らせします。

### 目次：

明法GEより	1
CED挨拶	1
GE講座①	2
GE講座②	3
先生からのメッセージ	3
地理の授業でPCを使用	4
体験学習会のお知らせ	4

## CED（最高教育責任者）

北原 達正



GE講座がスタートして約1か月。ロボットもディベートも始まり、毎回「今日は何だろう?!」と思いながら教室に入ってくる生徒たちのワクワク感を強く感じています。しかし、現時点で彼らに望んでいることは、学ぶ姿勢と学ぶ意識の改革です。困難な課題をいかに克服できるか。自分には「無理だ」と思うことを、他の人たちはこなしている現実をどうとらえるのか。すぐにはできないことばかりだけど、3か月取り組めばどうなるのか。これらを本当に身につけるためには、対外的な場で足が震える緊張感と涙が出るような口惜しさがが必要です。これこそが本当に得てほしい経験だと考えています。自分の考えが甘かったこと、もっとやるべきことがあったこと、工夫すれば違った結果が導いたことなどを知り、本当の試行錯誤を知ること。それを乗り越えて、成果に結び付けることができた時の達成感、18歳、22歳の成功につながり生涯の財産になります。早速この夏にはディベートで大会に挑みますが、全員が出場できるわけではありません。「挑戦する心」をしっかりと芽生え育てたいと考えています。

## GE講座



CED助手によるPC作業のサポート



PCの基礎について



アシスタントの川西さんも参加  
(ディベート)

### 4月23日(水) PC(基礎編)とディベート導入

- 3・4限** タブレットの使用法は、日本語変換と正しいタイピング方法から開始しました。全員がゆっくりならローマ字変換が可能なことがわかりましたので、今後、ブラインドタッチに慣れたところで「早打ちコンテスト」を行う予定です。
- 5限** ロボットの基礎。各自のPCにロボット制御用のアプリケーションをインストールして、ロボットの基本構造、センサーについて説明を受けた後、簡単な課題に取り組みました。成功するとCEDとハイタッチして次の課題に挑戦していました。集中した1時間はあっという間だったようです。
- 6限** ディベートの事前学習。連休明けに始まる西部先生の授業を前に、ディベートについて学びました。3グループに分かれて、命題は「中学生は携帯電話を持つべき」でした。ネットを使って集めた資料の中で、特に数値を含んだデータの重要性について説明がありました。その後、本日のまとめ。生徒達は4時間連続のGE講座で疲れた様子を見せず、集中して取り組んでいました。50分の枠に収まらない内容もありますが、独立した教室配置と、この教室用に選定した立ち上がる時に音を発しない椅子も機能して、他の授業に影響を与えないため、校時に縛られずに柔軟に休憩を取れることも大きなメリットです。



講義をする西部先生



問題解決のミーティング



シナリオディベート

### 5月7日(水) ディベート 第1回 講師 西部直樹

- 3限** 最初にCEDより西部先生の紹介がありました。西部先生は偶然にもCEDと同じ歳。北海道VS九州です。ほとんどの生徒が小学校の時に簡単なディベートの経験があるようでしたが、立論、質疑、反駁という形の本格的なディベートを始める前に、簡単なゲームで人間の思考の特性について学びました。
- ①ランダムに並んだ100個の数字を昇順に消していく。(制限時間2分)
  - ②同じ内容で用紙の中央に縦横ラインが引かれたもの。 ※引かれたラインにより数字配列の規則性が分かると作業効率が倍になった。
  - ③3人または4人のグループに分かれて相手が大きい又は小さいで答えられる「お題」を決める。「お題」を聞いたグループは各自でそれが大きいと思ったら起立する。全員がそろえば1 pointもらえます。(挙げられたお題 福沢諭吉・単一電池・ペンギン・消しゴム)
  - ④犬のリードを持つ女性の写真からわかることを一分間で書き出す。  
犬に苦戦。黄色い服を着た女性。賑やかな街。犬に引っ張られている。木々の間に街灯がある。白い犬がいる。犬が勝手にリードを引っ張っている。犬は白い。女性が電話をしている。携帯電話で話をしている。犬と散歩をしている。雨が降っている。外で散歩をしている。以上が生徒から挙げられましたが、断定出来るのは白い犬と黄色い服を着た女性がいること。その他はそれのようにも見えるが断定は出来ないということ。
  - ⑤車に乗っていて事故に遭った父子が救急車でそれぞれ別の病院に連れて行かれた。搬送先の病院で子どもを見た医者が「これは私の子どもです」と言う。さて、父親、子ども、医者との関係は？  
生徒の答え「父・子・母(医者)」「義父・子・実父」「子供が似ていただけ(赤の他人)」など。  
どのような事実に基づいてどう判断するのか、基準は人により違うので、それを相手に伝えるためには理由付けをする必要がある。「何となく」では相手に伝わらないので、常にどのように説明するかを考えて、思いついたことは「言葉」にしてみる。

#### 4限 考えるということ

説明には主張・データ・理由付けが必要。例文はどれが欠けているか、またどう補えば良いかという課題。「彼はいつも月曜日に遅刻してくる。人は同じ事を繰り返すものだ」この場合「彼はいつも月曜日に遅刻してくる＝データ」「人は同じ事を繰り返すものだ＝理由づけ」つまり主張が欠けています。これを補うと「彼はいつも月曜日に遅刻してくるので、今日も遅刻して来るだろう。人は同じ事を繰り返すものだ」となります。その他のいくつかの例文について演習しました。

課題（1回目の説明）「次のものを書いてください。丸があります。隣に三角形。挟むように台形。その図の上に四角形があります」

※これを文章で書いた生徒10名、図を書いた生徒3名。正解はありませんでした。

（2回目の説明）①図で書くこと ②書く順番 ③図形の数 ④全体の形 ⑤位置と接点について。この説明ではほとんどの生徒が正確に書くことが出来ました。1回目との伝え方の違いは、説明に「まず最初に」「次に」のように順番があったこと。全体の形の説明があったこと、図形で書く指示があったこと。また図形の個数も示されていたことです。 ※説明のポイントは全体から細部へ順を追って。

#### 5限 午前中の振り返り

配られた自分のカードについて相手に説明する。聞いた相手はそれを紙に書く課題。

ルール:説明する人は相手の手元を見てはいけない。手を動かしてはいけない。書く人は声を出してはいけない。

この課題で大切なのは自分の理解とそれが相手に伝わる際のズレを意識することでした。

情報の整理「ロードマップ」全体を示す。「ナンバリング」重要なポイントに番号をつける。「ラベリング」ポイントに見出しを付ける。

それにAreaを加えること。 Area=Assertion Reasoning Evidence Assertion A 主張 B 理由 C 例 A 再主張

4人または3人のグループで「いいこと3つスピーチ」プレゼンテーション

「～するなら、○○と△△と比べて○○の方が良い」同じカテゴリーの2つから1つを選び、その理由を3つ挙げる。例えば、「旅行をするなら電車と車を比べて車の方が良い」理由 ①電車のように時刻表に縛られない。 ②直接目的地まで行くことが出来る。③移動中に歌ったり音楽を聴くことが出来る。まとめると「旅行をするなら電車と車を比べて車の方がいいと思います。なぜならば電車のように時刻表に縛られないし、直接目的地まで行くことが出来る。そして移動中に歌ったり音楽を聴くことも出来ます。だから旅行をするなら車がいい」となります。

#### 6限 シナリオディベート ※少し集中力が落ちてきた生徒たちへCEDより注意 最後まで集中する。ディベートは戦いであり、もう戦いは始まっている。ルール違反の場合は全員失格になる。

最後にディベートアシスタントの川西さんが入って、3名又は4名×5グループでシナリオディベート（模擬ディベート）を行いました。

2014 全国ディベート甲子園 「日本は捕鯨を禁止すべきである。是か非か」

5月21日までにメリットとデメリットを各自調べておく（宿題）

捕鯨は調査捕鯨・商業捕鯨の両方。ネット検索では膨大な件数がヒットするので「とは」を入れる。 例 捕鯨とは

## 先生からのメッセージ（第2回）

英語(ALT) Travis Holtzclaw (トラヴィス ホルツクラウ)

What do you need to do to learn a foreign language? Many experts say “use it socially.” In fact, many experts believe that “conversation” is the key to learning a second language. Therefore, at Meiho GE we take English Conversation class seriously. We believe that (1) conversation is not a far off goal of English study but rather a nearby method of English study and (2) that conversation can be directly taught and trained. So if you are interested in English and a career working globally, please come join us.

私の授業では、英会話を「英語学習の目標」ではなく「英語の学習法」と位置づけています。「話題を発展させる」、「途切れず対等に話す」、「会話につながる答え方をする」などの課題を通し、積極的に話せることを目標としています。

Travis Holtzclaw

カリフォルニア大学 サンタクルーズ校卒業 (BA言語学)。大学在学中に日本語能力検定1級合格。卒業後、カリフォルニア州の私立高校でアメリカ人に日本語、非ネイティブに英語を2年間教える。長野で4年間の英語教授経験後米国へ戻り、モントレイ国際大学院で英語教授法を学ぶ(英語教授法修士号を取得)。専門は英語教授法、第二言語習得論、言語発達研究。2010年に再来日し、英会話学校講師、私立学校(女子校)副担任を経て、2012年より明法中学・高等学校勤務。英語指導歴15年。JALT(全国語学教育学会)教材開発研究部会 会員担当部長。

音楽担当 西澤 一明

ヨーロッパの演奏活動では多くの貴重な体験をしました。言語の違いと音楽のニュアンスには密接な関係があり、例えばオーケストラの演奏会前のブローベ(練習)でも、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、韓国、他様々な国籍の演奏家たちと一緒に音楽を作ること、難しさと共に魅力に溢れた世界でした。また言語だけでなく、せっかち、理屈っぽい、勤勉、お祭り好き、時間にルーズなどの国民性も明らかに存在して、戸惑うことも少なくありませんでした。しかし、それらを理解することは世界を理解することに繋がると感じました。グローバルとは価値観が違う相手と協働することというGEのコンセプトは、グローバル教育＝英語教育という認識を正す、これからの中等教育への提言でもあります。GEの音楽授業では音楽全般の十分な知識を身につけ、音楽が優れた自己表現の一つであることを学びます。また、多くの「本物」に触れることにより、質の違いがわかる耳を育み、生活に上質な音楽を取り入れることにより豊かな精神生活へと導きます。

西澤 一明

シュツツガルト国立芸術大学修士課程(künstlerische Ausbildung)修了(フルート専攻)ドイツ国家演奏家資格取得。NHK FM放送等に出演 ヨーロッパ各地でソロ・室内楽・教会音楽・オーケストラ等の演奏活動。東京、北京、ウィーン他各地でリサイタルを行う。大手ソフトメーカーのコンピュータ音楽ソフト開発に携わる。元リヒテンシュテルン音楽高等学校(ドイツ)講師、元聖路加看護大学非常勤講師 日本音楽著作権協会会員

## 社会科（地理）でタブレットPCを使用しました



5月13日（火）地理の授業でPCを使用しました。担当の佐藤先生は日頃からiPadを利用したIT授業の研究を進めています。この日は生徒が少し自分のPCに慣れたところで、初めて普通授業で使わせてみました。各自が国土地理院のサイトに接続して、情報を得るという授業でしたが、GE講座で学んだ調べ学習の基礎を振り返りながら、難なくこなしていました。

## 明法GE説明会・体験学習会開催（事前予約制）

日時：6月22日（日）

場所：明法中学・高等学校

詳細は本校HPで

午前の部：10：00～13：00（受付 9：30）

午後の部：14：00～17：00（受付13：30）

説明会終了後：保護者の方には体験学習会をご覧ください。

### 説明会

明法GE Chief Educational Director（最高教育責任者）  
北原達正が、明法GEの理念と教育の特徴をお話します。

### 体験教室概要

- ①赤外線電子サッカーボールをみごとにシュート！
- ②国際科学技術コンテストと同じフィールドを使用し、自律型ロボットでサッカーの試合をしよう！



定員：各回40名

申込方法 <http://meiho-ge.ed.jp>



### 明法中学・高等学校

MEIHO Global Endeavors

〒189-0024

東京都東村山市富士見町2-4-12

TEL:042(393)5611

FAX:042(391)7129

<http://www.meiho-ge.ed.jp>